

# 【大学間協定留学】留学近況報告書

記入日	2025年 10月 29日
留学先大学/国名	<b>ヴェネツィア大学</b> (日本語名) 国名: <b>イタリア</b> <b>Universita Ca' Foscari Venezia</b> (現地言語名)
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2025年9月～2026年3月
明治大学の所属学部等 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
学年 ※出発時の本学での学年	3年生

## I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

持ち物の面では海外経験の多い家族のため、両親と相談しながら準備した。アドバイスとしては、現地のアジア系スーパーで大体の日本の調味料は揃うため、多く持参する必要はないように思う。滞在先によってはネット注文の配達が入手くされないこともあるため、化粧品などこだわりがあるものがあれば食料よりも生活用品を持参することを推奨する。島内にはスーパーくらいしかないが、本土側にバスで 30 分のところに家電量販店などが入っているショッピングモール、1 時間かければ IKEA があり、生活用品を揃えることもさほど難しくない。ただし、島内は道路が石畳で、水路にかかる橋の階段が非常に多く、滞在先が島内の場合はスーツケースをはじめとした大荷物の移動は人の手を借りなければかなり大変である。

事前準備の面で後悔しているのは言語についてである。ヴェネチアに留学していた友人から「英語ができれば生活できる」と聞いていたため、イタリア語学習を怠ってしまった。たしかに生活にほとんど支障はないのだが、やはり現地の言語を話すことができるほうが良い。また、留学向けの一番基礎のイタリア語の授業においても、事前学習の差やスペイン語など似た言語を話す人との差でレベルのギャップを感じ苦労した。

## II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: タイプ D	申請先: イタリア大使館(東京)
ビザ取得所要日数: 2 週間 (申請してから何日/ 何週間要したか)	ビザ取得費用: 無料
1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?	
入学許可証、滞在先の書類、留学資金の証明など。公式サイトにチェックリストがあるので活用した。	
2. 具体的な申し込み手順を教えてください。	
大使館のアポイントメントを取り、予約日時に書類を持って行って申請。特	
3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?	
4. ビザ取得に関して困った点・注意点	
大使館の予約を取らなければならないのだが、これがなかなか取れない。友人の中には留学に間に合わなくなりそうになり、電話などで無理やり交渉したり、発給まで本来 2 週間かかるところを短縮してもらったりしている人がいた。早めの行動をおすすめる。	

## Ⅱ-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送等)。

円ユーロにおいて円安が進んでいることもあり、wise や revolut など外貨両替の手数料がかからないカードの作成をおすすめする。滞在許可証やパスの定期券作成時に入学許可証やパスポートのコピーが必要となる場面があるので、書類のコピー持参とデータの保存を推奨する。

## Ⅲ. 現地到着後のながれ

### 1. 到着時の様子

利用航空会社	エミレーツ航空				
航空券手配方法	航空会社の公式サイト ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入				
大学最寄空港名	ヴェネチア・マルコポーロ空港	現地到着時刻	13:30		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配 の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他 ( )
移動の所要時間	30 分				
空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等 10 ユーロでスーツケースを下に積める大型バスに乗車					
大学到着日	9 月 16 日 17 時頃				

### 2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか?	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 10 月 1 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他( )	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他( )	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他( )	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他( )	
住居の申込み手順	大学の housing office 経由	

### 住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか? トラブルはありましたか?

渡航 3 日前に、元々入居予定だった寮 CX Mestre が利用不可になった。この知らせを受けて Housing Office に報告し、大学の提携機関である ESU が寮探しを行うこととなった。最終的には解決して現在の Camplus S. Marta に入居しているが、大学を含む関係各所の対応は悪く、以下に簡単な流れを記述する。

CX が入居不可に→CX が 2 週間のホステルを提案→ESU による手配が行われると知らされキャンセルに→出発日になっても決まらず自分でホステルを手配→到着日に大学のオフィスを訪れるが「月末までは待て」と告げられる→CX 経由で 2 週間の宿を再度手配→代わりのホステルのチェックアウト前日になっても大学・ESU から連絡なし→ホステルに相談し滞在を延長してもらう→結果その翌日(つまり 1 日延長された日)の 18 時に寮が決まったとメールを受け取る→翌日入居。

以上のように、どこに連絡しても「月末まで解決策は提示できない」と待たされ、結局は当初の代替期間を超えており、現地の組織の対応はすべて疎かであった。代わりのホステルの Anda Venice Hostel が親身になってくれたのが唯一の救いだった。

3. 留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	09/18
参加必須ですか?	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額: )
内容の様子?	現地の席数が限られ多くが zoom での出席となった。開始予定時刻を 40 分すぎから開始(5 分遅延時に「数分お待ちください」とアナウンス)し、現地の様子は慌ただしいものだったと聞いている。内容は留学生向けに、学校システムや履修登録の説明であった。
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9 月 22 日から
IV. その他、渡航してから必要な手続きについて	
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか? いつ、どこで、方法は? 日数、料金は? トラブルは?	
ある。到着 8 日以内に郵便局でキットを作成し届け出なければならない。大学で週一回数時間だけ作成の手伝いを行っているが、限られた事前予約枠取る必要がある。届後は、指定された日時に警察署に出頭し滞在許可証を受け取るのだが、かなり先の予定となることが多く自分の予約日は 3 月の帰国予定日後である。そのため、郵便局で申請を行った証拠となるレシートなどを許可証の代わりとして所持する必要がある。費用は約 100 ユーロであった。	
2. その他現地でした手続きは(健康診断、予防接種等)? いつ、どこで、方法、日数、料金は? トラブルは?	
なし	
3. 現地で銀行口座を開きましたか? 手続方法、必要書類、日数、料金は? トラブルは?	
していない。学生証が現地銀行と提携しており、申請すると口座開設されキャッシュカードとして利用できる。大学のコピー機の利用や大学からなにかしらの金銭を受けとるなど、大学との金銭的やり取りを行う唯一の方法らしいが今のところ必要性は感じていない。	
4. 現地で携帯電話を購入しましたか? 手続方法、必要書類、日数、料金は? トラブルは?	
現地 SIM(TIM)の eSIM を店舗で契約した。月 150GB で、初月に約 30 ユーロを支払い、その後はトップアップ(おそらく 10 ユーロ)する。	
V. 履修科目と授業について	
1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか?	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前に(4 月 日頃) <input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input checked="" type="checkbox"/> 志願書類に記入して登録 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他( )	
<input checked="" type="checkbox"/> 到着後に(10 月 30 日頃) <input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際オフィス等の仲介 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他( )	
登録時に留学生として優先されることはありましたか?	
<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった	
優先が「あった」方はどのように優先されましたか?	
優先が「なかった」方はどのように登録しましたか?	
授業に出席しオンラインで登録するのみ。特に定員オーバーなどは経験していない。ただし、留学生用の授業は定員オーバーすると抽選となり、落選者は空き枠待ちとなる。	

## 2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？ また希望通りの授業が取れましたか？

出願時に learning agreement という書類を提出したが、これ通りになることはほぼない。というのも、8 月ごろになってから留学生用の授業の申請が行われるなど、出願時に履修計画を立てるのはほぼ不可能である。授業開始後 1 カ月間が明治大学の仮登録期間のような時期であり、10 月末までにオンライン上で本履修登録を行った。

## VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入

	月	火	水	木	金	土	日
5: 00							
6: 00							
7: 00							
8: 00							
9: 00	起床	起床		火曜と同じ			
10: 00	授業 1 1 コマ 90 分	授業 1	起床		起床		
11: 00	授業 1	授業 1					
12: 00		休憩	授業 1		授業 1		
13: 00		授業 2	授業 1		授業 1		
14: 00	昼休み	授業 2					
15: 00		授業 2	以下自由時間		以下自由		
16: 00		授業 3					
17: 00		授業 3					
18: 00	授業 2						
19: 00	授業 2	夕飯					
20: 00	夕飯						
21: 00							
22: 00							
23: 00							
24: 00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝		

## VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般について等、自由に書いてください。

ヴェネツィアの島内では英語ができれば全く問題なく生活できる。また、かなり多くの日本人留学生がおり、日本人コミュニティだけで暮らしていけるほどである。交換留学生は留学生用の講義を中心に受講することが多く、その講義には必ず数人の日本人がいる。生活や授業で困った際に頼れる心強さがある一方、意識的に交流を広げていかないと留学の意義が薄れてしまうようにも思う。

自分の場合は偶然、寮と通うキャンパスが近いエリアに固まっているため比較的快適な環境である。しかし、大学のキャンパスは島に点在し本土側にもあるため、履修の仕方によってはかなり移動が多くなる可能性もある(場所によっては授業間の 15 分では移動不可能)。UNICA カードというバスや水上バスの定期券を購入でき、本数も多いため、滞在先が Mestre(本土側)や島内でキャンパスから離れた場所でも移動手段は確保されている。ただし、観光客が多いエリアや迷路のような街中を歩くのは個人的には避けたいというのが本音である。また、時々大きなストライキがあるため注意が必要である。

寮については、月約 420 ユーロで 2 人部屋に滞在している。部屋にはキッチンとシャワー・トイレが完備されており、寮にはジム、自習室、カフェ、洗濯乾燥機といった設備がある。全体的に綺麗で、部屋は少し狭いが満足度は高い。留学生、特に 1 学期間のみの学生を受け入れる物件は限られており、共用キッチンのみだったり設備が古かったりする場合もあるため、寮探しはとにかく早めにすることを推奨する(自分の場合は避けられないトラブルに巻き込まれたが、さすがに例外だと信じている)。

現地到着から 1 カ月経った 10 月中旬から 11 月 4 日現在まで細菌感染による高熱が続いており、授業は満足いくほど受講できていない状況である。ヴェネツィア大学は講義によって開講期間が異なり、留学生向けの講義など多くは 1 学期間、一部はクォーター制である。当初は留学生向けの講義を 3 つ履修していたが、イタリア語の授業は週 4 コマ(2.5h×2+1.5h×2=週 8 時間)あり、出席が厳しく、病状の関係で履修を取り消した。その関係で急遽 term2(1 学期後半)開講科目を追加した。履修登録期間が長いことに助けられた。講義は基本的にテストで成績が決まり、口頭試験がある科目も多い。

半月にも及ぶ病状に悩まされているが、明治大学指定の海外保険のサポートが手厚く大変助かっている。これまでに往診 1 回、受診 3 回(現地クリニック 1 回、大型病院の緊急外来 2 回)を経験し、直近の緊急外来ではそのまま 1 日入院となった。これらすべてが保険会社に直接請求されているほか、現地で暮らす日本人を通訳として手配してもらった。現地の医療サービスについても大きな問題は経験していない。

約 1 カ月半の留學生活のうち、2 週間が寮探しのホステル暮らし、寮入居後の直近約 3 週間が闘病生活という厳しい状態である。ヴェネツィア大学の Housing Office や ESU(学生の滞在先確保を請け負う機関)には大きな不信感を残しているが、自分や同じ境遇だった人は知る限り全員問題解決されているようだ。そして闘病中は日本人の友人に食事面でのサポートをもらうことができ、日本人コミュニティの恩恵をかなり受けている。